

# はあとめっせーじ



第56号

発行／山梨県看護協会中北地区支部  
発行責任者／望月 富士穂  
印刷／有限会社 クリップ



支部長あいさつ

## はあとめっせーじ発刊に寄せて

公益社団法人 山梨勤労者医療協会 甲府共立病院 望月 富士穂

皆様、こんにちは！今年度より支部長を務めます甲府共立病院の望月富士穂です。

中北地区支部は、県内で最も会員数が多く（2,800名以上）活気のある支部です。そんな支部を担うこととなり、身の引き締まる思いと同時に皆様と一緒に活動できることをとても楽しみにしています。

私たち看護職は、医療・介護の現場で日々忙しく働きながらも、患者さんや利用者さんにとってよりよいサービス、そして看護の質の向上を目指して奮闘しています。皆様のそんな日々の努力に心から敬意を表します。

近年では、地域包括ケアシステムの構築が進み、医療・介護・福祉・行政といった分野での連携が進んで参りました。当支部では、これまでの活動を大切に引き継ぎながら、研修会や交流の場を通じて、医療・介護・福祉サービスの水準を向上させるべく、有意義な取り組みを積極的に企画、運営していきます。

支部役員、委員一同、楽しく！をモットーに会員の皆様の声にしっかり耳を傾けながら一緒に活動を進めていきますので、どうぞ、これからもご支援・ご協力のほど宜しくお願い致します。

## Contents

- 支部長あいさつ ..... 1
- 「山梨県看護協会中北地区支部一日まちの保健室」に参加して ..... 2
- 看護功労者知事表彰受賞者紹介 ..... 2
- 看護師のための社会人基礎力—指導者編—研修会に参加して... 3
- 患者・家族の意思を尊重した意思決定を支える看護師の役割 3
- 山梨県看護協会に入会しませんか ..... 3
- 人と人とのつながりが支える災害対応・ペンリレー・編集後記 ..... 4

# 「山梨県看護協会中北地区支部 一日まちの保健室」に参加して

甲府市役所 田中 好香

令和7年度は、甲斐市で毎月第二日曜日に開催されている「甲斐てき朝市」に役員7名で参加させていただき「山梨県看護協会中北地区支部一日まちの保健室」を実施しました。

甲斐てき朝市では、竜王駅の活性化を目的とし、野菜・お菓子・雑貨等の様々な出展者が参加されていました。そのため、お買い物後に山梨県看護協会中北地区支部一日まちの保健室に寄ってくださる方も多く、約50名の方に対し血圧測定・健康相談・リーフレット配布を行うことができました。さらに、今年度は、握力測定も取り入れたことで、お子様連れの方や若い方にも興味を持っていただき、関わる中で、看護の魅力について発信することができました。

参加者からは「自分の健康について考える良い機会になった」「買い物ついでに相談できてよかった」等の声をいただき、自分の健康を振り返る良いきっかけになったことを嬉しく感じました。今後も、地域の方々の健康を守り、いきいきと健やかに暮らせることができるよう活動を継続していきたいと思います。



*Congratulations*

## 受賞おめでとうございます。

中北地区支部から看護功労者8名、県民の看護師さん  
5名の方々が受賞されました。

受賞者を代表し前島由里子さん(写真左)からのメッセージをご紹介します。

### 令和7年度 看護功労者知事表彰

岩澤 久美様	山梨大学医学部附属病院
小澤 真寿美様	介護老人保健施設ノイエス
梶原 辰美様	赤坂台病院
蓮沼 知津子様	山梨大学医学部附属病院
渡邊 清美様	市立甲府病院
保坂 栄子様	市立甲府病院
前島 由里子様	山梨県立中央病院
平賀 奈津子様	小沢外科内科医院

### 第30回 県民の看護師さん

伊藤 由美様	なでしこ皮フ科
広瀬 友美様	ゆうき訪問看護ステーション (山梨県看護協会)
河西 由貴様	共立介護福祉センターいけだ
川村 優紀子様	山梨県立中央病院
沼口 香織様	山梨大学医学部附属病院 (五十音順)



### 長年の歩みを支えてくださった皆様へ

地方独立行政法人山梨県立病院機構  
山梨県立中央病院 前島 由里子

このたびは、荣誉ある看護功労者知事表彰を賜り、身に余る光栄と、心より感謝申し上げます。県基幹病院での長きにわたる勤務は、私にとって大きな誇りです。

基幹病院の役割として、高度な医療を必要とする多くの患者様・ご家族と出会い、その一人ひとりの人生に寄り添うことの尊さを学んでまいりました。喜びを分かち合い、苦しみを共有する中で、「ありがとう」という言葉や、安堵の表情を見させていただいた患者様・ご家族の温かさが、私の看護師人生を支える大きな原動力です。

この受賞は、私個人の力ではなく、長年にわたり苦楽を共にしてきた同僚たち、支えてくださった先輩方、そして常に温かく見守ってくれた家族の支えがあってこそだと深く感じております。

今後も、患者さんとご家族に寄り添い、地域医療に貢献できるよう、看護の道を精進してまいります。本当にありがとうございました。

## Report

令和7年11月19日、山梨県看護協会看護教育研修センターにおいて「看護職のための社会人基礎力－指導者編－」をテーマに研修が行われ、参加された井上都さんから感想をいただきました。

令和7年9月10日、山梨県看護協会看護教育研修センターにおいて「患者・家族の意思を尊重した意思決定を支える看護師の役割」として研修とグループワークが行われ、参加された坂本杏理さんから感想をいただきました。

## 「看護職のための社会人基礎力－指導者編－」 研修会に参加して

久晴会グループ（株）山梨福祉総研 井上都  
訪問看護ステーションかのん

訪問看護に入職し、今年から新人看護師の指導に関わることになり、新人に対する関わり方や育成、社会人基礎力について学びたいと思い研修に参加しました。

この研修に参加して、社会人基礎力とは「3つの能力」と「12の能力要素」があることを学び、まずは自己について振り返り、自分の社会人基礎力の足りなさを感じました。

現在の医療現場では少子化や高齢化社会が進み、医療の高度化が求められ、知識だけではなく質の高い看護が求められています。一人一人が社会人基礎力について学び行動することで質の高い看護提供ができると感じました。研修ではグループワークをし、事例検討を通し、12の要素を活用しながらできること、できないことの評価がしやすく、指導、育成について明確化する事ができたので、チーム全体の質の向上につながるよう取り組みたいと思います。



## 「患者・家族の意思を尊重した意思決定を支える看護師の役割」に参加して

竜王リハビリテーション病院 3階病棟 坂本 杏理

意思決定について、漠然とした不安を抱えながらこの講義に参加させて頂きました。患者さんの思いはなにか、また、家族はどんな気持ちなんだろう。日々考え自分なりに対応はしてきましたが、はたしてその対応が正しかったのか。間違っていたらどうしようという不安な気持ちが大きかったです。

研修に参加し、DVDでの事例を見ながら、グループワークを行いました。患者さんの意向と家族の意向に違いがあった時、私たちはどんな答えを導き出してあげられるのか、何が正解なのか、患者さん・家族はどんな気持ちなのか。それぞれの視点に立って意向について話し合い、たくさんの思いに対する「もしかしてこんな気持ちなのではないか」と多方面から考えることができました。

講義の中で、患者さんはどんな人なのか、些細な会話の中にも、患者さんの想いが溢れているということを知り、日々の関りの大切さを改めて実感することのできる講義でした。患者さんだけでなく、残される家族の想いも汲み取り、悔いの残らない意思決定が行えるよう、患者さんの1日1日を大切にしながら関わって行きたいと思えます。



看護職のあなたをサポート

会員特典いろいろ！

福利厚生サービスも充実！！



## 山梨県看護協会に 入会しませんか



山梨県看護協会は地域住民により質の高い看護を提供するための看護団体です。

県内の保健師・助産師・看護師・准看護師で構成する看護団体です。

看護協会は保健師・助産師・看護師・准看護師の資格があればどなたでも入会していただけます。

日本看護協会と山梨県看護協会（各都道府県看護協会）への同時入会となります。

詳しくは山梨県看護協会ホームページをご覧ください。

<http://www.yna.or.jp>

## 人と人のつながりが支える災害対応 ～能登半島地震の報告を通して～

令和7年10月3日、看護管理者代表者会議が開催されました。講義とグループワークが行われ、「災害対応」について理解を深めました。参加された中嶋健太さんから感想をいただきました。

公益財団法人住吉偕成会住吉病院 中嶋 健太



近年、能登半島地震をはじめ各地で様々な災害が相次ぎ、災害対応の重要性を改めて感じます。

研修では被災地で活動した看護職の方々が、医療だけでなく地域住民や行政、福祉など多職種と連携しながら支援にあたった実践が語られました。「災害対応は特別なものではなく、日常の延長線上にある」という言葉から、災害対応は医療の枠を超え、地域全体の力で成り立つことを学びました。看護職として、平時から地域と関係を築き、互いの役割を理解し合うことが、いざという時に機能する地域連携の基礎になると再認識しました。

グループワークでは、マニュアルやBCP整備の現状、災害意識を持続することの難しさなどが共有され、日頃から防災を意識できる環境づくりの大切さを実感しました。今後は、研修や振り返りの場を通して、防災意識を繰り返し確認し合えるような風土づくりを進めていくことが大切だと考えます。

看護管理者として、職員一人ひとりが自らの役割を理解し、地域とともに主体的に行動できる組織づくりを進め、災害に強く、人を支え合える組織を目指していきたいと思えます。

## 「新卒訪問看護師として考えること」

公益社団法人山梨県看護協会  
ゆうき訪問看護ステーション 天野 祐菜



私は大学を卒業し、新卒で訪問看護の道に進みました。山梨県看護協会では『新卒訪問看護師育成プログラム』が整っているため、3年間の育成プログラムを通して、訪問看護に必要な専門的知識・技術・態度を学ぶことができ、日々多くの学びを得ています。

現在は先輩看護師に同行しながら看護技術を習得したり、様々な研修に参加して知識を増やしたりしています。また受け持ちの利用者さんも決定し、単独訪問も始まっています。病気がありながらも在宅で生活する利用者さんやご家族が望む生活を叶えるために、何ができるのか考えることは容易ではありません。しかしこんなことができよかった、これが楽しかったと話してもらえると、その方の生活を支えていることを実感します。

利用者さんやご家族の望みに対して、できていることや前向きな気持ちなどの強みとなるものに注目しながら、その人らしい生活を支えられるように技術と知識の習得、経験を積み重ねていきたいです。



## 「対話を大切に、その人らしい時間を支える緩和ケア」

山梨県立中央病院 池谷 美江



私は緩和ケア認定看護師として、患者さんの「その人らしさ」に寄り添う支援を大切にしています。診断期から治療期、終末期まで幅広い病期にある患者さんと関わる中では、身体的苦痛の緩和が優先され、生活背景や思いが見えにくくなる場合があります。だからこそ私は、患者さんとの対話を重ね、汲み取った思いや価値観をスタッフと共有する時間を意図的につくっています。また、チーム全体で「生きる力」を支えるために、多職種による意思決定支援やACPの推進、専門・認定看護師、特定行為看護師らとの協働を通じ、全人的なケアを提供できる体制づくりに努めています。

患者さんと向き合う時間は、私を成長させてくれる貴重な時間です。支える側でありながら、実は患者さんに支えられていることに感謝し、これからも一人ひとりの歩みに寄り添い、その人らしい時間を支えていきたいと考えています。

## 編集後記



今年度は新しい支部長のもと、明るい雰囲気の中で支部活動がスタートし様々な研修会やイベントが開催されました。

看護管理者代表者会議においては、各施設の課題や取り組みを共有し、情報交換できた事で横のつながりが深まったように感じました。また、看護職のための社会人基礎力においては、多数の参加があり、日々の実践に直結する学びとなりました。

今後も、様々な研修が看護の実践に活かされ、より良いケアへとつながる一助となれば幸いです。また、会報誌を通じて、皆様に支部活動の意義と魅力を少しでも感じていただき一人でも多くの方に参加していただきたいと思います。

最後に、本誌の発刊に際しましてご協力いただきましたすべての方々に感謝申し上げます。

## 編集委員

赤坂台病院	雨宮麻実子
山梨県立中央病院	安西 芳子
竜王リハビリテーション病院	田中 恵子
ゆうき訪問看護ステーション	田中 美江
甲斐市役所	石川 和紀

